

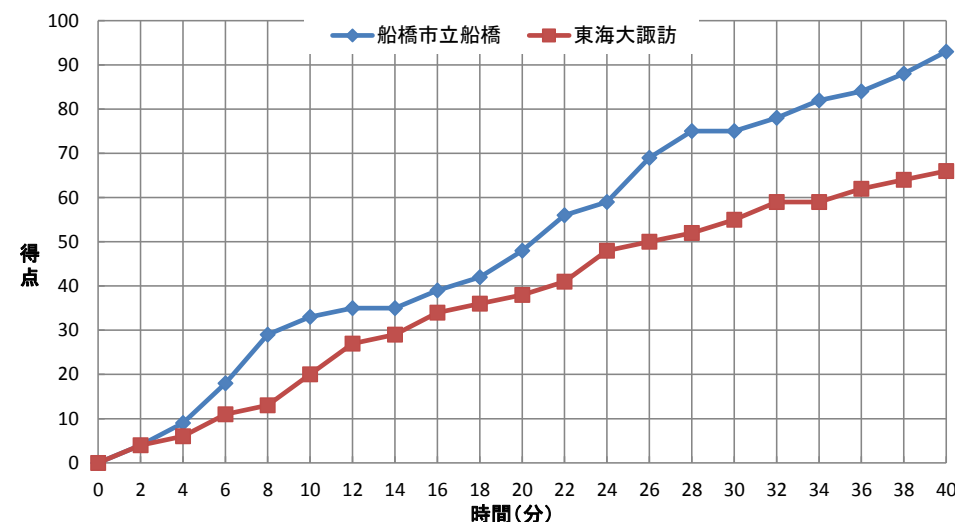


平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男 子							平成28年8月1日 14:30 開始						
2 回戦							県立総合体育館大アリーナ D						
◎ 船橋市立船橋 93 (千葉県)							66 東海大諏訪 (長野県)						
33 1st 20 15 2nd 18 27 3rd 17 18 4th 11													
番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則
4	石塚 周太	9	2	1	1	2	4	守谷 悠	0	0	0	0	1
* 5	田村 伊織	18	0	8	2	0	5	須崎 虎太郎	4	0	1	2	3
* 6	増田 修大	10	0	5	0	0	* 6	園原 真樹	10	2	1	2	0
* 7	赤穂 雷太	19	2	5	3	2	* 7	竹田 寛人	13	1	5	0	2
8	相川 大和	2	0	1	0	4	8	栗野 誉之	2	0	1	0	1
9	畠山 功	2	0	1	0	0	9	手塚 太一朗	0	0	0	0	0
* 10	保泉 遼	14	2	4	0	3	* 10	張 正亮	7	0	3	1	4
* 11	野崎 由之	14	4	1	0	4	11	佐伯 大全	0	0	0	0	0
12	富澤 春輝	2	0	1	0	1	12	武原 諒汰	2	0	1	0	1
13	樋口 諒	1	0	0	1	0	* 13	北村 孝太	16	2	4	2	0
14	庄司 理宇	2	0	1	0	0	14	加藤 穂高	1	0	0	1	1
15	薬丸 侑平	0	0	0	0	0	* 15	寺澤 大夢	11	2	2	1	4
コーチ	近藤 義行					0	コーチ	入野 貴幸					0
Aコーチ	相川 宙輝						Aコーチ	上條 駿					
合 計		93	10	28	7	16	合 計		66	7	18	9	17
主審: 宇地原尚彦													
副審: 北村仁													

得点経過



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	19:54	:	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	6:15	14:24	25:14	27:38	32:12	:	:	:	:

〔 戦 評 〕

第1P、東海諏訪はボールマンに対して激しくプレッシャーをかける1-1-2-1のオールコートプレスから2-3のゾーンディフェンスを展開。一方、市立船橋は、オールコートマンツーマンディフェンスで試合開始。両チームともフットワークを生かした運動量のあるディフェンスを展開する。市立船橋は東海諏訪の迫力あるゾーンディフェンスに対して、落ち着いて3Pを沈める。さらに、1-1-2-1のオールコートプレスに対しても相手のディフェンスをかいくぐりレイアップシュートに持っていき得点を重ねる。対する東海諏訪も、#13の3Pなどで食い下がるが、市立船橋が33対20でリードし、第1Pを終了。

第2P、ディフェンスをマンツーマンに変え、流れを引き戻した東海諏訪は、長身の#10のインサイドを基点とするオフENSから徐々に点差を詰める。第1Pとは打って変わって、容易な得点を決して許さない両チームの厳しいディフェンスにより高い緊張感のあるゲームが展開される。そのような中、第2P終盤に市立船橋の#4と#11が3Pを沈め、48対38の市立船橋リードで前半を終える。

第3P、市立船橋の長身#7の多彩なインサイドプレーや3Pなどで次々と得点し、徐々に点差を広げていく。東海諏訪も#10のインサイドプレーや、#7、#13の3Pで点差を詰めていったが、手数で上回った市立船橋が点差を広げ、75対55の市立船橋がリードし、第3Pを終了。

第4P、東海諏訪はマンツーマンディフェンスから2-3のゾーンディフェンスに変え、流れを引き戻そうと試みる。しかし、市立船橋#4や#7などの活躍により点差はなかなか縮まらず、93対66で市立船橋が勝利をつかんだ。両チーム、火花の散るような厳しいディフェンスを終始展開する見ごたえのあるゲームだった。

戦評: 手島祥平

記録: 海田高校